

第三内科（血液内科，腎臓内科，リウマチ内科）

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

専門性という武器を持った総合内科医になれるチャンスを逃してはいけません。
将来必ず役に立つ経験が得られます。

血液，腎臓，膠原病の各領域疾患サマリー2つ以上ずつ作成できます。

【専門研修に向けて(希望者には！)】

学会発表（年に1回以上）や症例報告など希望に合わせて経験することが可能です。
将来なりたい自分になるためのキャリアパスを一緒に作りあげていきましょう。

【研修目標と評価】

一般目標

血液・腎膠原病症例の診療を通して，内科学一般の基本的な臨床能力を身につける。

行動目標《5段階評価》

(1) 医療面接

- ① 礼儀正しく患者及び家族に接することができる。
- ② プライバシーに配慮し，患者及び家族との信頼関係を形成できる。
- ③ 効果的な病歴聴取が実施できる。

(2) 身体診察

- ① 全身状態とバイタルサインの評価ができる。
- ② 頭頸部・胸部・腹部・四肢の診察ができる。
- ③ リンパ節腫大・肝脾腫について評価できる。
- ④ 出血傾向の有無について評価できる。
- ⑤ 体液貯留・浮腫・脱水の有無について評価できる。
- ⑥ 膠原病リウマチ疾患の診断基準を理解し特徴的な皮膚・関節所見を評価できる。

(3) 基本的検査

- ① 尿検査を実施し，結果を解釈できる。
- ② 末梢血液学的検査の結果を解釈できる。
- ③ 血液生化学検査の結果を解釈できる。
- ④ 動脈血採血を行い，血液ガス分析検査の結果を解釈できる。
- ⑤ 出血・凝固線溶検査の結果を解釈できる。
- ⑥ クレアチニンクリアランスを計算できる。
- ⑦ FENa が計算できる。
- ⑧ 胸部 X 線検査所見を説明できる。

- ⑨ 12誘導心電図を記録でき、結果を解釈できる。
- ⑩ 適応を判断し骨髄穿刺を行い、結果を解釈できる。
- ⑪ 腎生検の適応を判断し、結果について解釈できる。
- ⑫ 適切な自己抗体検査をオーダーし解釈することができる。

(4) 基本的治療

- ① 貧血を鑑別し治療方針を立てることができる。
- ② 糸球体疾患を鑑別し治療方針を立てることができる。
- ③ 化学療法薬の薬物動態と使用方法を理解している。
- ④ 腎不全を鑑別し初期治療と透析の適応の判断ができる。
- ⑤ 白血球減少・免疫抑制状態の管理ができる。
- ⑥ 電解質・酸塩基平衡を理解し管理できる。
- ⑦ NSAIDs, 副腎皮質ステロイド, 免疫抑制剤の適応の判断と副作用予防のための支持療法を行うことができる。
- ⑧ 治療的・予防的抗凝固療法を行うことができる。
- ⑨ 瀉血・輸血の適応を判断し行うことができる。
- ⑩ 腎不全を発見し初期治療ができる。
- ⑪ 末梢血液学的検査の結果を解釈できる。

(5) 評価と診療計画の立案

- ① プロブレムリストを作成できる。
- ② 一時的な診断に基づいて診断的プラン及び治療プランを立案できる。
- ③ POMR (problem oriented medical record) に沿った診療記録の記載ができる。
- ④ 受け持ち患者のプレゼンテーションができる。
- ⑤ インターネットを利用し文献検索ができる。

(6) 診療及び学習行動における態度

- ① 自己の職業的能力とその限界に即した行動ができる。
- ② 医療安全管理の概念とその具体的な方法について説明できる。
- ③ 同僚及び他の医療職の助言・批判を受け入れることができる。
- ④ 自己学習の必要性について理解し、その理由について説明できる。

【方略】 研修方法

1. 病棟の診療はチーム (A, B, C) に所属し、入院患者を主治医として3～5名担当し、上級医とともに診療に当たる。
2. 上級医の指導の下に外来新患 (月, 火, 木) の診療に参加する。
3. 毎週の総回診前カンファランスあるいは血液・腎カンファランスで症例提示を行う。
4. 上級医とともに担当患者と家族に診断及び治療方針について説明する。
5. 担当した患者に関する文献をインターネットで検索し、科学的に検討してカンファランスで紹介し討論し、内科学会地方会 (6月, 9月, 2月) で発表する。

指導医

高橋直人^{1 2 5}，奈良美保^{1 2}，池田翔^{1 2}，北舘明宏^{1 2}，小林敬宏^{1 2}，小林五十鈴^{1 2}，
山下鷹也^{1 2}，藤岡優樹^{1 2}，齋藤雅也^{1 3}，阿部史人^{1 3 4}，齋藤 綾乃^{1 3 4}

(1 総合内科専門医，2 血液専門医，3 腎専門医，4 リウマチ専門医，5 臨床腫瘍学会
暫定指導医)

第三内科ホームページ

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~naika3/>

第三内科についてのご質問:

齋藤雅也(研修担当)

e-mail: masaya@med.akita-u.ac.jp

TEL: 018-884-6116, FAX: 018-836-2613

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	グループ回診	グループ回診	グループ回診	グループ回診	グループ回診
9:30 ~ 12:00	病棟 (外来)	病棟	病棟	病棟 (外来)	病棟
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	病棟	新入院患者 カンファレンス	病棟	病棟	病棟
14:00		総回診			
16:00	血液 カンファレンス	外来カルテ診 医局会 抄読会 研究発表会	腎・膠原病 カンファレンス		